

事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022 年 3 月 31 日

環境・体制整備					
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①	利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切である。	100%	0%	・走ったり、ボール遊びをするなどのスペースが確保されている。	
②	職員の配置数は適切である。	100%	0%	・1名に対して1~2名のスタッフで支援している。 ・1対2で関わる事ができている。	
③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	60%	40%		・外部の光や音、人の出入りに支援が中断してしまう場面がある。 ・外からの刺激を受けやすい環境のため、特性によっては不十分。 ・出入口（玄関）が支援するところから見えるので、人の出入りが気になり、支援中、途切れる場面がある。 ⇒ レイアウトの変更や、活動の順序だてなど、今後検討していきます。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	100%	0%	・換気や消毒を行い、清潔が保持できるようこまめに掃除を行なっている。 ・空気清浄機など設置済み。	
業務改善					
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	100%	0%	・介入後や業務後に振り返りを行ない、次回のプラン検討に繋げている。	・終礼等、振り返りの時間を設けている。しかし、生で関わる職員があいまいではあると感じる。 ⇒ 非常勤スタッフへの情報共有方法について検討していきます。
⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	100%	0%	・定期的に評価を依頼。評価を基に目標を明確にしている。	
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果により支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	100%	0%	・評価を依頼。評価結果は開示している。	
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	0%	100%		

⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期だが実施している。 ・スタッフミーティングの機会あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画はしているが、なかなか実践しにくい現状あり。 ・時間の確保は現状難しい。 ⇒ 情報共有の機会を含め、月1回の開催を目指していきます。
---	------------------------------	-----	-----	--	--

適切な支援の提供					
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や話し合いの機会も確保できている。 ・定期的に評価を実施。目標の見直しを行なっている。 	
⑪	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	100%	0%		
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本に支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%		
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	100%	0%		
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職種や専門性を合わせて立案している。 	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・固定してしまっても目的や難易度は変え、子どもに合わせている。 	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している。	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・対大人との関わりでの集団活動の経験をしている。 ・個別療育のみ。 	
⑰	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割について確認している。	100%	0%		
⑱	支援終業後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼にて実施している。 	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録（ご家族宛）、プログラムシート（スタッフ向け）を使用し、全体を記録している。 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	100%	0%		

関係機関や保護者との連携					
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	100%	0%		
㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	80%	20%		
㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	100%	0%		
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	100%	0%		
㉔	移行支援として、保育所者認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	80%	20%		
㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	80%	20%	・必要に応じて書面でも記録を送って情報を共有している。	
㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	80%	20%	・研修は受けていないが、情報の共有は行なっている。 ・他関連機関との連携、相談、情報の共有あり。	
㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	20%	80%	・個別療育音ため、交流の機会はなし。	
㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	40%	60%		
㉙	日頃から子どもの状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%		
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	40%	60%	・ペアレントトレーニングではないが、療育後に毎回保護者と話す機会を設けている。	

保護者への説明責任等					
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
㉛	運営規定、利用者負担額について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	・見学、契約時に実施している。	
㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	100%	0%		

③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	・話しかけやすい対応を心掛けているが、相談する時間が少ない。 ・モニタリング等の機会に相談等あり。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	0%	100%		
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	60%	40%		
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	40%	60%	・LINEを活用している。 ・LINEでの空き情報等のお知らせ発信。	
③8	個人情報の取扱いに十分注意している。	100%	0%		
③9	障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%		
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	・行事やイベントは行っていない。	

非常時等の対応

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	・非常勤の職員がいるため、実施内容の共有の機会を設けていく必要があると感じる。	
④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	・避難ルート、避難場所の確認済み (避難訓練として)	
④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	100%	0%	・契約時に基本情報、ヒアリングシートに聞き取り、記入あり。	
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	20%	80%	・食事の提供なし。	
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	60%	40%		
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%		
④7	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している。	60%	40%		

○ この「事業所における自己評価（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。